

初任者の授業力を向上させる研究授業の在り方

—研究授業における初任者指導教員の役割—

平成 27 年度京都府立特別支援学校初任者指導教員研究協議会作成

計画・運営・調整

- ・授業者を含めて、研究授業にかかわる全員の力量が向上する研究授業を計画する。
- ・初任者が充実感を感じ、授業づくりや授業改善の意欲が向上する研究授業を運営する。
- ・多くの教員（初任者、管理職、教諭等）が事前研究、事後研究を含めた研究授業に参加できるように、日程の調整及び連絡を行う。
- ・研究授業の中で初任者に効果的な助言を行うために、普段から学級の様子を把握しておく。
- ・初任者育成の校内の中核的な役割を果たし、管理職、教諭等と連携し「チーム学校」として初任者を育てる。
- ・研究授業終了後は実施した研究授業を踏まえて、勤務校研修を再検討する。

「指導の基礎」の定着

- ・場に応じた服装、履き物、言葉遣い、声量、表情、立ち方・立ち位置、子どもの呼び方等の基本的な授業態度
- ※ 参考：心がけのススメ（京都府総合教育センター）
- ・発問、指示、説明、学習形態、板書、ノート指導、子どもの評価、学習環境の整理等の基礎的な指導技術
- ※ 普段から学級担任と連携し、初任者に身に付けさせたい「指導の基礎」について共通理解しておく。

事前研究

授業づくりにおける指導

- ・授業者のねらいを大切に授業づくりのサポート
- ・教育課程上の位置付けの明確化
- ・チームティーチングの役割の明確化
- ・「チームで作る授業」の促進

指導案作成の指導

- ・基本的な文言等の指導
 - ・授業者の意図が参観者に伝わる指導案を作成させる。
（指導案作成のポイント）
 - ①単元に関わる児童生徒の実態の明確化（アセスメント）
 - ②単元の流れに沿った、具体的な本時の目標の設定
 - ③題材設定の理由→個別の目標→手立て→評価のつながり
- ※ 参考：学習指導案作成ポイント（京都府総合教育センター 平成 27 年改訂）
- ※ 指導案確認時に、教材・ワークシート等も確認する。

研究授業当日（授業参観）

授業者の応援

- ・落ち着いて授業ができるように言葉がけをする。
- ・授業づくりに関する努力を評価する。
- ・授業準備等を一緒に確認する。

参観する初任者への指導

- ・事前に指導案を配付し読み込みをさせる。
- ・授業参観の視点を明確にし、共通確認させる。
（授業参観の視点の例）
 - ①児童生徒の実態把握
 - ②授業目標
 - ③教材
 - ④指導技術
 - ⑤児童生徒の評価方法 等

事後研究

目的の共通理解

- ・事後研究の目的を参加者で共通理解する。
（事後研の目的）
 - ①今後のよりよい授業を検討する。
 - ②初任者の授業力を向上させる。

効果的な進行

- ・授業の事実に基づいた発言を促す。
- ・授業者の意図に沿った研究協議を進行する。
- ・初任者同士のコミュニケーションを促進する。

研究授業のまとめ

初任者への指導

- ・事後研究のポイントを簡潔にまとめさせる。
- ・授業改善のための具体的なアクションを考えさせる。